

眞実の愛を求めて

—エロスとアガペーによる分性的愛—

序

現代はあらゆる社会の秩序が揺れている時代です。社会における長幼の序の乱れ、学校における規範の乱れ、専横尊いと手がありません。それらの秩序の乱れの原因は家庭にあります。祖父母、父母、兄弟姉妹との生活の中で、愛と秩序について学んでいくのが家庭生活の目的です。—家庭は夫婦において出発します。

夫婦とは何か、結婚とは何かといふことが明らかにならぬまま安易な結婚そして離婚をくり返しているのが現状ではないでしょうか！

わたしたちはここでこの人類最大とも言える問題にとりくむにあたり、その究極を目指す「愛」の問題をとりあげてみようと思うのです。

► エロス Eros



エロスは元来ギリシア語で「神の愛」「愛」を意味しました。現在では専ら「自己中心的な愛」を意味します。肉体的な愛からいわゆるプロトニックラブと呼ばれる精神的な愛に至るまでのあらゆる愛の概念をその中に包含しています。それらの共通するところはいずれも自己中心的であり、独占的で利己的な要素が隠されているというところです。

► アガペー Agape

アガペーもギリシア語 Agapan(愛する)に由来する二つで「愛」という名詞です。アガペーは聖書で「神の愛」を表示し、具体的には「神の人間にに対する愛」「人間の神に対する愛」「人間どうしの愛」(ヨハネ15/9~12)「神自体との愛」(ヨハネ4/10)を意味します。したがってアガペーは神中心の愛であり、ひたすら他のために不惜しみなく与える愛であり、いのちまで捧げる自己犠牲の愛です。

(＊の聖句はうさを見て下さい)



► 分性的愛

統一原理では愛の根源を神におき、その基本形は、父母の愛、夫婦の愛、子供の愛の三形態といいます。無形の神の愛が実体の人間に通じて現われようとするため、やむを得ず家庭的愛の形態を取りるようにほどののです。

この三形態の愛がすべての愛の基本形であり、それを分性的愛といふのです。



人はエロス的な愛にはいつかは満足することができなくてはなりません。人間の本心は神を指向するために真正な神の愛を渴望するようになります。この本心の渴望状態から感ずる神の愛がアガペーです。

したがってアガペーは純粹な神の愛ではなく、旧約時代の聖徒たちが感じた神の愛なのです。これは神の一面のみを見ていたにすぎないのです。神の全面的な愛がイスラエルの不信と迫害という状況の下で部分的に表面化されたのが新約聖書に現われているアガペーです。

神の愛が本然の姿どおりに現われようとするならば神の愛を継承した愛の実体が地上に現われなければならない。それが即ち神の見子として来られたイエスキリストだったのである。しかしイエス様が十字架上で死んでしまったので神の愛は地上で部分的に実現したにすぎませんでした。

イエス様が再臨を約束されたのは、果たせなかた神の愛を地上に完全に実現(マタイ15/45)するためだったのです。



いつもも存在するものは
信仰と希望と愛とこの
三つである。このうちで最も
大きいものは愛である。

—コリスト人への手紙 13章13節

► 罪悪の血統から神の血統へ！

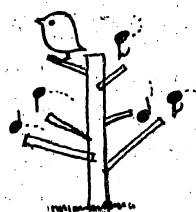
「だれでも新しく生まれなければ神の国を見ることはできない。」
ヨハネによる福音書 3章 3節

上句はイエス様が彼の弟子ニコデモに語られた言葉です。
サタニの血統から神の血統に転換し、神の子として新生しなければならないという意味です。

統一原理では罪悪の根が血縁的な因縁にあり血統的問題の解決は心情の因縁にあるという事を明らかにしています。キリスト教徒がイエス様を切々と愛し慕ってきた意義もここにあります。

統一教会の重要な式典のうちの1つに合同結婚式というものがありますが、これがまさしく血統転換の行事であります。この時用いられる「聖水」はその恩寵と決意のための象徴的行為であり、キリスト教の伝統的儀式の「洗礼」に相当するものです。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
また、キリスト教ではイエスの肉を象徴するパンと食べ血を象徴するブドウ酒を飲む聖餐式の儀式がありこれがキリストとの一体化を示す儀式で、統一教会の聖酒式がこれに当たります。



*ヨハネ15章12節：「父が小ちて植て下したぶるにわたしもあなたが生を愛してるのである。わたしはあなたたちにいるまい。
もしかもしのいまめを守るならば、あなたがたは私の愛のうちににあるのである。それはわたしがおおわら
父のまへを守ったので、私の愛のうちにあるのと同じである。……」

*ヨハネ4章10節：「わたし方が神を信じておはなく、神が小ちたらを信じて下さってわたしの罪のためにおが
ないの供え物として御子をおつかれになつた。ニニに愛がある。」

さらに深く愛して下さい

十分に尽くしたと専う時、もう一步進んで深く愛して下さい
困難にぶつかる時に尽くす努力をやめようとする時
そのペースを乗り越えてさらに深く愛して下さい
安逸を求める人に尽くすべきところを省きたくなる時
そのペースを乗り越えてさらに深く愛して下さい
利己心から自分の轍に迷い込もうとする時
轍を打ち破り、あなたから先に一步相手に歩み出します
人の不正の犠牲に丁度抗議したくたら
さらに深く愛して沈黙を守ります
人の鬼口を言いそうに丁度たら
愛の心に湧き立たせ話題を変えなさい
人の為に犠牲を払いたくないと思う時
さらに深く愛を込めて寛大の道を選びなさい
人を大切にするという事に困難や反対を感じる時
理屈や理論を振るにしてさらに深く愛して下さい
すべては静けさをとりもどすだろ
愛の想の実行を拒みたくなる時は
いつでも手をあげて
さらに深く愛して下さい。

— Rev. S.M. Moon *

* Rev. S.M. Moon

統一教会創始者。1920年韓国に生まれる1954年教会
を創立してから、名目で200余カ国で200万人の会員を擁する。

京都大学 原理研究会



本会は統一理念(ムニズム)を研究することにより、人生の道理を
見出し、大学生本然の位置と姿勢を確立すると同時に、京都大学
を神の喜び得る大学にしめることを目的とする。

1982.10.13